

一般会計歳入歳出決算額の詳細

	令和4年度決算額	令和3年度決算額	増減率 (%)	解説
(1) 歳入総額	1,619億2,203万円	1,666億389万円	△ 2.8	市税全体では、前年度に比べ、個人市民税や固定資産税などの増額により、約8.3億円の増額となりました。 一方で、国庫支出金や市債などが減額し、歳入総額は約47億円の減額となりました。
(2) 歳出総額	1,555億7,345万円	1,616億4,182万円	△ 3.8	プレミアム付商品券事業などにより商工費が約8.9億円の増額、畜産振興推進事業などにより農林水産業費が約5.1億円の増額となりました。 一方で、子育て世帯臨時特別給付金事業などにより民生費が約46.2億円の減額、財政管理事業などにより総務費が約17.4億円の減額となり、歳出総額は約60.7億円の減額となりました。
(3) 歳入歳出差引額	63億4,858万円	49億6,207万円	27.9	「(1)歳入」から「(2)歳出」を差し引いた、形式収支と呼ばれるものです。
(4) 実質収支	51億1,218万円	41億95万円	24.7	実質収支は、「(3)歳入歳出差引額」から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いたもので、このうち36億円を財政調整基金（貯金）に積み立て、残りの15億1,218万円を翌年度（令和5年度）への繰越金としました。
(5) 単年度収支	10億1,123万円	6億9,108万円	46.3	単年度収支は、当該年度の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた、当該年度だけの収支の状況を見るものです。
(6) 実質単年度収支	△16億3,246万円	20億561万円	△ 181.4	実質単年度収支は、「(5)単年度収支」に財政調整基金への積立金（決算余剰積立以外）と市債元金の繰上償還金を加算し、財政調整基金の取崩額を減じたもので、単年度収支に含まれている黒字要素及び赤字要素を調整した収支の額です。